

世界セレクトティブ株式オープン
(為替ヘッジあり／年1回決算型)

運用報告書（全体版）
第6期

(決算日 2026年4月27日)
(作成対象期間 2025年4月26日～2026年4月27日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2020年7月31日～2050年4月25日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			M S C I コクサイ 指 数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 券 率 組 入 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 騰 落 中 率	(参考指数)	期 騰 落 中 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2 期末(2022年 4 月25日)	10,001	0	△10.0	12,997	0.2	－	98.0	183
3 期末(2023年 4 月25日)	9,633	0	△ 3.7	12,935	△ 0.5	－	99.1	152
4 期末(2024年 4 月25日)	10,617	100	11.3	15,448	19.4	0.0	99.9	103
5 期末(2025年 4 月25日)	10,562	100	0.4	17,005	10.1	0.0	99.0	83
6 期末(2026年 4 月27日)	11,147	100	6.5	22,177	30.4	0.0	99.0	84

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、M S C I Inc.（「M S C I」）の承諾を得て、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。M S C I コクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、M S C I が開発した指数です。本ファンドは、M S C I によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、M S C I は本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期 首：10,562円

期 末：11,147円（分配金100円）

騰落率：6.5%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

海外先進国株式市況が上昇したことを主因として、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準 価 額		M S C I コ ク サ イ 指 数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組 入 比 率	投 資 信 託 受 組 益 証 券 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2025年 4 月25日	円 10,562	% －	17,005	% －	% 0.0	% 99.0
4 月末	10,670	1.0	17,239	1.4	0.0	99.0
5 月末	11,223	6.3	18,306	7.7	0.0	99.4
6 月末	11,522	9.1	19,057	12.1	0.0	99.0
7 月末	11,351	7.5	19,508	14.7	0.0	99.0
8 月末	11,403	8.0	19,979	17.5	0.0	99.0
9 月末	11,523	9.1	20,438	20.2	0.0	99.1
10月末	11,481	8.7	20,883	22.8	0.0	99.2
11月末	11,473	8.6	20,873	22.7	0.0	98.9
12月末	11,509	9.0	21,301	25.3	0.0	99.0
2026年 1 月末	11,403	8.0	21,669	27.4	0.0	99.1
2 月末	11,264	6.6	21,697	27.6	0.0	99.2
3 月末	10,253	△2.9	19,849	16.7	0.0	99.2
(期末) 2026年 4 月27日	11,247	6.5	22,177	30.4	0.0	99.0

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2025.4.26～2026.4.27)

■海外先進国株式市況

海外先進国株式市況は上昇しました（米ドルベース）。

海外先進国株式市況は、当作成期首から2025年11月中旬にかけて、トランプ米国大統領による関税引き上げリスクの後退や、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金利引き下げ期待により、上昇しました。2026年2月下旬にかけては、米国の政府機関の一部閉鎖の影響が嫌気されて下落する場面がありましたが、半導体関連企業等の好決算が支援材料となり、上昇しました。3月下旬にかけては、米国とイスラエルがイランへの軍事作戦を開始し、イランによってホルムズ海峡が事実上封鎖されたことなどから先行きへの懸念が強まり、下落しました。しかし当作成期末にかけては、停戦交渉が進展するとの期待感により市場がリスクオンに転じ、反発しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態で、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）：アンカーMF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

なお、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいはヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について為替ヘッジを行わない方針です。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2025.4.26～2026.4.27)

■当ファンド

当ファンドは、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」を投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」の投資比率を高位に維持しました。

■MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは世界的なインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

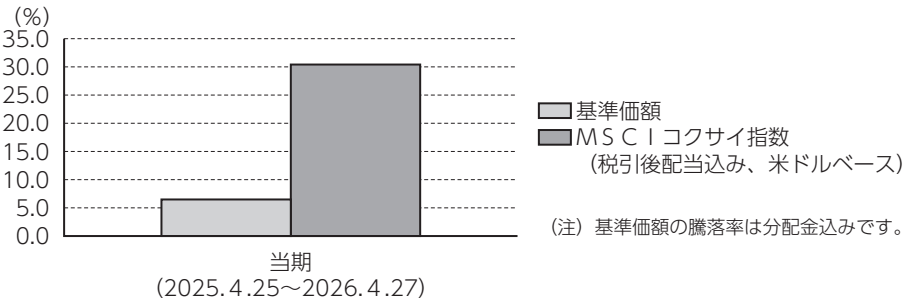
■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は海外先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年4月26日 ～2026年4月27日	
当期分配金（税込み）（円）		100
対基準価額比率（％）		0.89
当期の収益（円）		100
当期の収益以外（円）		－
翌期繰越分配対象額（円）		1,146

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	当	期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.64円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	351.85
(c) 収益調整金		263.66
(d) 分配準備積立金		630.56
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		1,246.72
(f) 分配金		100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		1,146.72

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

なお、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいはヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について為替ヘッジを行わない方針です。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2025.4.26~2026.4.27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	128円	1.134%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,291円です。
(投 信 会 社)	(37)	(0.332)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(87)	(0.774)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.008	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	129	1.142	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

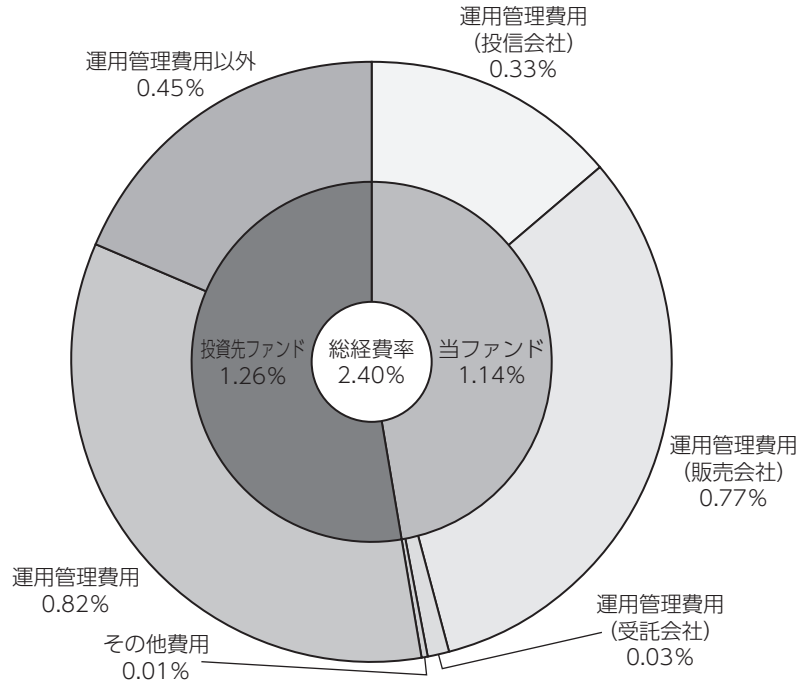
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.40%です。



総経費率 (①+②+③)	2.40%
①当ファンドの費用の比率	1.14%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.45%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2025年4月26日から2026年4月27日まで)

		買 付		売 付	
		□ 数	金 額	□ 数	金 額
国内	アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	千口	千円	千口	千円
		1,526.473	1,900	5,667.29	7,100

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) 当ファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2025年4月26日から2026年4月27日まで)

決 算 期	当 期					
区 分	買付額等 A	うち利害 関係人との 取引状況B	B／A	売付額等 C	うち利害 関係人との 取引状況D	D／C
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
公社債	66,329	19,989	30.1	6,992	6,992	100.0
コール・ローン	2,478,032	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合0.0%
※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーフンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

当作成期中における売買委託手数料の利害関係人への支払いはありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券株式会社です。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
国内投資信託受益証券 アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)	千口	千円	%
	67,371.091	83,836	99.0

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	評 価 額
	□ 数	□ 数	
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口	千口	千円
	0	0	1

(注) 単位未満は切捨て。

*同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

■投資信託財産の構成

2026年4月27日現在

項 目	当 期 末	評 価 額	比 率
	千円		
投資信託受益証券	83,836		%
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	1		0.0
コール・ローン等、その他	2,113		2.5
投資信託財産総額	85,950		100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2026年4月27日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	85,950,907円
コール・ローン等	2,113,317
投資信託受益証券(評価額)	83,836,585
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,005
(B) 負債	1,244,504
未払収益分配金	759,921
未払信託報酬	481,119
その他未払費用	3,464
(C) 純資産総額(A－B)	84,706,403
元本	75,992,196
次期繰越損益金	8,714,207
(D) 受益権総口数	75,992,196口
1万口当り基準価額(C／D)	11,147円

* 期首における元本額は79,035,040円、当作成期間中における追加設定元本額は3,515,095円、同解約元本額は6,557,939円です。
* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,147円です。

■損益の状況

当期 自2025年4月26日 至2026年4月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	5,907円
受取利息	5,907
(B) 有価証券売買損益	5,931,761
売買益	6,426,034
売買損	△ 494,273
(C) 信託報酬等	△1,002,763
(D) 当期損益金(A + B + C)	4,934,905
(E) 前期繰越損益金	2,535,577
(F) 追加信託差損益金	2,003,646
(配当等相当額)	(397,864)
(売買損益相当額)	(1,605,782)
(G) 合計(D + E + F)	9,474,128
(H) 収益分配金	△ 759,921
次期繰越損益金(G + H)	8,714,207
追加信託差損益金	2,003,646
(配当等相当額)	(397,864)
(売買損益相当額)	(1,605,782)
分配準備積立金	6,710,561

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
- (注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
- (注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,904円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	2,673,796
(c) 収益調整金	2,003,646
(d) 分配準備積立金	4,791,782
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	9,474,128
(f) 分配金	759,921
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	8,714,207
(h) 受益権総口数	75,992,196口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	100円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。 ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。 ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
--

<補足情報>

当ファンド（世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2025年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2026年4月27日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄
公 社 債

(2025年4月26日から2026年4月27日まで)

買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
1325国庫短期証券	2025/11/17	千円 20,677,312	1344国庫短期証券	2026/2/24	千円 6,992,426
1306国庫短期証券	2025/8/18	19,989,400			
1344国庫短期証券	2026/2/24	16,779,856			
1364国庫短期証券	2026/5/25	8,883,214			

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2026年4月27日現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド（15,921,384千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2026年4月27日現在							
区 分	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	う ち B B 格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国債証券	千円 8,900,000	千円 8,894,777	% 55.4	% －	% －	% －	% 55.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2026年4月27日現在						
区 分	銘	柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	1364国庫短期証券		% －	千円 8,900,000	千円 8,894,777	2026/05/25

(注) 単位未満は切捨て。

* 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第17期（決算日 2025年12月9日）

（作成対象期間 2024年12月10日～2025年12月9日）

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

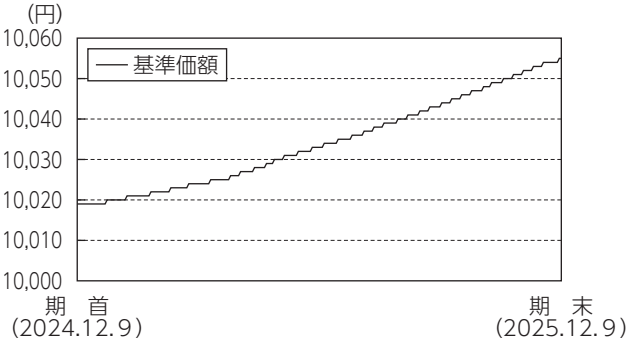
運 用 方 針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	円建ての債券
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
	円	%	%
(期首)2024年12月9日	10,019	—	62.9
12月末	10,020	0.0	57.6
2025年1月末	10,021	0.0	71.6
2月末	10,023	0.0	64.8
3月末	10,025	0.1	59.8
4月末	10,028	0.1	56.2
5月末	10,032	0.1	67.9
6月末	10,035	0.2	60.0
7月末	10,039	0.2	61.0
8月末	10,042	0.2	60.0
9月末	10,046	0.3	65.8
10月末	10,050	0.3	71.4
11月末	10,054	0.3	57.8
(期末)2025年12月9日	10,055	0.4	61.4

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：10,019円 期末：10,055円 騰落率：0.4%
【基準価額の主な変動要因】
利息収入により、基準価額は上昇しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市況
日銀の利上げを受けて、短期金利は上昇しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	—
合 計	—

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 111,315,497	千円 6,992,426 (127,200,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

当		期	
買	付	売	付
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
1277国庫短期証券 2025/3/31	千円 31,088,809	1344国庫短期証券 2026/2/24	千円 6,992,426
1296国庫短期証券 2025/6/30	22,780,118		
1325国庫短期証券 2025/11/17	20,677,312		
1306国庫短期証券 2025/8/18	19,989,400		
1344国庫短期証券 2026/2/24	16,779,856		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期 区分	当 期			未		
	額面金額	評価額	組入比率	5年未満 格以下 組入比率	5年以上 2年以上	2年以上 2年未満
区 分	千円	千円	%	%	%	%
国債証券	9,800,000	9,790,567	61.4	—	—	61.4

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注3) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

区 分	当 期			未		
	銘 柄	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
区 分		%	千円	千円		
国債証券	1344国庫短期証券	—	9,800,000	9,790,567	2026/02/24	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年12月9日現在

項 目	当 期		未	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
区 分		%		%
公社債	9,790,567	61.4		
コール・ローン等、その他	6,156,857	38.6		
投資信託財産総額	15,947,424	100.0		

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	15,947,424,800円
コール・ローン等	6,156,857,300
公社債(評価額)	9,790,567,500
(B) 負債	4,379,900
未払解約金	4,379,900
(C) 純資産総額(A－B)	15,943,044,900
元本	15,856,162,308
次期繰越損益金	86,882,592
(D) 受益権総口数	15,856,162,308口
1万口当り基準価額(C／D)	10,055円

*期首における元本額は51,764,911,701円、当作成期間中における追加設定元本額は28,677,006,619円、同解約元本額は64,585,756,012円です。
*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
ダイワ米ドル・プルファンド（適格機関投資家専用） 53,058,966円
ダイワ米ドル・ベアファンド（適格機関投資家専用） 1,829,881,549円
ダイワ・マネーポートフォリオ（F O F s用）（適格機関投資家専用） 1,084,248円
ダイワJリートベア・ファンド（適格機関投資家専用） 347,542,829円
米国国債プラス日本株式ファンド2021－01（部分為替ヘッジあり／適格機関投資家専用） 44,359,998円
米国国債プラス日本株式ファンド2021－07（部分為替ヘッジあり／適格機関投資家専用） 51,809,589円
ダイワ／バリュー・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス 9,976円
オール・マーケット・インカム戦略（資産成長重視コース） 1,973円
オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定額分配コース） 1,973円
オール・マーケット・インカム戦略（奇数月定率分配コース） 1,973円
オール・マーケット・インカム戦略（予想分配金提示型コース） 1,973円
NYダウ・トリプル・レバレッジ 799,549,002円
世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年1回決算型） 998円
世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型） 998円
NASDAQ100 3倍ベア 307,024,261円
ポーレン米国グロース株式ファンド（資産成長型） 998円
ポーレン米国グロース株式ファンド（予想分配金提示型） 998円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド（適格機関投資家専用） 5,092,876,184円
ダイワJGBベア・ファンドⅡ（適格機関投資家専用） 7,289,276,819円
ダイワ／ロジャーズ国際コモディティT M・ファンド 2,417,017円
ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
ド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型） 998円
ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
ド（通貨選択型）ブラジル・リアル・コース（毎月分配型） 998円
ダイワ／フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファン
ド（通貨選択型）アジア通貨・コース（毎月分配型） 998円
ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型） 999円
ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型） 999円
ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジなし／年4回決算型） 999円
ジャナス・ヘンダーソン・バランス・ファンド（為替ヘッジあり／年4回決算型） 999円
マネーファンド（ラップ専用） 36,260,578円
ダイワ米国債7－10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - U S Tライアングル - 992,418円
*当期末の計算口数当りの純資産額は10,055円です。

■損益の状況

当期 自2024年12月10日 至2025年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	126,830,737円
受取利息	126,830,737
(B) 有価証券売買損益	△ 448,640
売買益	286
売買損	△ 448,926
(C) 当期損益金(A + B)	126,382,097
(D) 前期繰越損益金	97,235,029
(E) 解約差損益金	△222,140,815
(F) 追加信託差損益金	85,406,281
(G) 合計(C + D + E + F)	86,882,592
次期繰越損益金(G)	86,882,592

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

■運用報告書にかかる信託約款の条文変更について

2025年4月1日付の投資信託及び投資法人に関する法律の改正により、運用報告書にかかる規定が変更されたため、運用報告書にかかる信託約款の条文を以下のとおり変更しました。（下線部を変更）

<変更前>

(運用報告書)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める運用報告書を交付しません。

<変更後>

(運用状況にかかる情報)

委託者は、投資信託及び投資法人に関する法律第14条に定める事項にかかる情報を提供しません。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類		追加型投信／海外／株式
信託期間		無期限
運用方針		アンカーMFGグローバル株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するために、為替ヘッジを行います。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替ヘッジを行わない場合があります。
主要運用対象	アンカーMFGグローバル株式ファンド(為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド受益証券
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
マザーファンドの運用方法		1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	1. アンカーMFGグローバル株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。以下同じ。 3. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. 新興国企業が発行する株式への実質投資割合は、原則として20%以内とします。 5. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する実質投資割合は、原則として30%以内とします。 6. 銘柄あたりの実質投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の実質投資割合は、原則として40%以内とします。 7. 実質キャッシュ比率は、原則として20%以内とします。 8. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 9. デリバティブ取引は、原則として行いません。
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。
分配方針		収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含む）等の金額）内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

アンカーMFGグローバル 株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

運用報告書（全体版） 第6期（決算日 2026年4月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は、去る2026年4月1日に第6期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

《アンカーMFG グローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）》

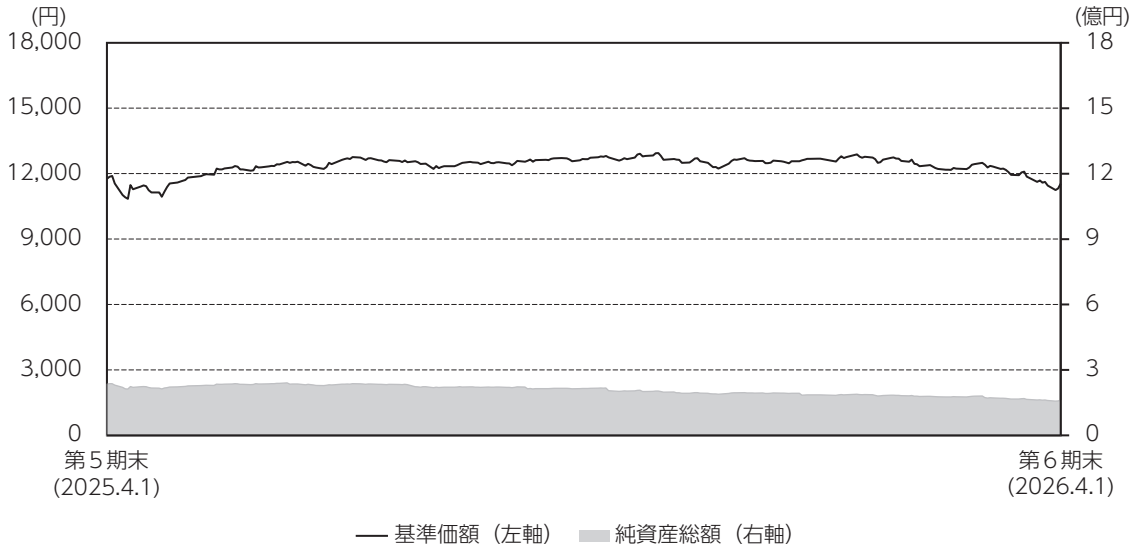
最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
		税 込 分配金	期 中 騰落率		期 中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2 期（2022年4月1日）	10,866	0	1.1	13,688	3.3	93.1	3.7	574
3 期（2023年4月3日）	9,858	0	△ 9.3	12,711	△ 7.1	97.7	－	463
4 期（2024年4月1日）	11,644	0	18.1	15,896	25.1	98.0	－	330
5 期（2025年4月1日）	11,766	0	1.0	17,110	7.6	93.3	－	234
6 期（2026年4月1日）	11,545	0	△ 1.9	20,275	18.5	97.9	－	160

（注）参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース、2020年8月3日を10,000とする。）を使用しています。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■基準価額・騰落率

期 首：11,766円
 期 末：11,545円
 騰落率：△1.9%

■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	10.7%

■基準価額の主な変動要因

株式がプラスに寄与したものの、為替ヘッジがマイナス寄与し、基準価額は下落しました。株式では、情報技術、コミュニケーション・サービス、金融での保有銘柄の株価が上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

為替ヘッジは、米ドル他すべてのヘッジ対象通貨に対して円安他通貨高となりました。

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2025年 4 月 1 日	円	%		%	%	%
	11,766	－	17,110	－	93.3	－
4 月 末	11,673	△0.8	17,181	0.4	89.5	－
5 月 末	12,294	4.5	18,245	6.6	96.5	－
6 月 末	12,635	7.4	18,994	11.0	98.0	－
7 月 末	12,455	5.9	19,443	13.6	96.5	－
8 月 末	12,523	6.4	19,912	16.4	95.3	－
9 月 末	12,669	7.7	20,369	19.1	97.4	－
10 月 末	12,635	7.4	20,813	21.6	95.9	－
11 月 末	12,636	7.4	20,803	21.6	98.1	－
12 月 末	12,688	7.8	21,230	24.1	98.6	－
2026 年 1 月 末	12,583	6.9	21,597	26.2	94.8	－
2 月 末	12,439	5.7	21,624	26.4	96.2	－
3 月 末	11,325	△3.7	19,782	15.6	98.3	－
(期 末) 2026 年 4 月 1 日	11,545	△1.9	20,275	18.5	97.9	－

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初は、トランプ政権による相互関税の公表を受け急落したものの、その後各国との貿易協議が進展し、市場の過度な懸念が和らいだことで、反発しました。その後は、F R B（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測や、A I 関連企業を中心とした良好な企業業績を支えに、上昇基調で推移しました。期末にかけては、中東情勢の緊迫化や原油価格の上昇を受け、投資家心理が悪化したことなどを背景に下落しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。期初、米政権の相互関税により米国の景気後退懸念が急速に高まり、米ドルが売られる局面も見られたものの、その後貿易摩擦の緩和が観測されたことで米ドル買いが進みました。またその後も、日本政局を巡る先行き不透明感や、日銀の利上げに対する慎重な姿勢などを受け、円安米ドル高が進行しました。期末にかけても、中東情勢を受けた有事のドル買いが広がり、期を通じては円は米ドルに対し下落しました。

前期における「今後の運用方針」

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行います。また、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

ポートフォリオについて

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。また、実質組入外貨建資産について、一部の通貨を除き外貨売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

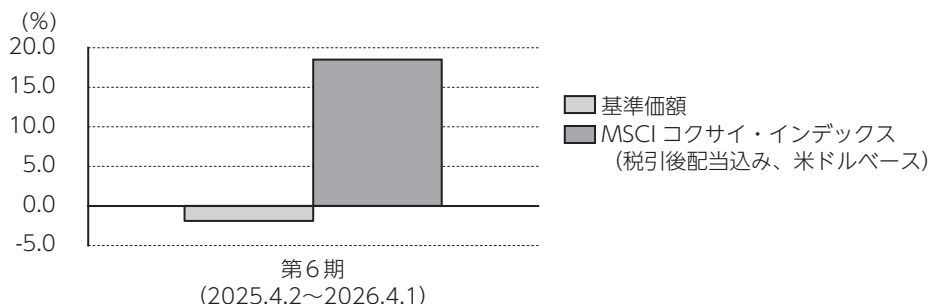
○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な不可欠な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは世界的なインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2025年4月2日 ～2026年4月1日	
当期分配金（税込）（円）		0
対基準価額比率（％）		－
当期の収益（円）		－
当期の収益以外（円）		－
翌期繰越分配対象額（円）		1,544

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。また、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

株式市場については、中長期的には引き続き前向きな見通しを維持しています。一方で、足元ではバリュエーションが高水準にある中、地政学リスクや各国政策の不確実性、AIによる産業構造の変化など、市場を取り巻く懸念やリスクが拡大しており、短期的には慎重な姿勢を強めています。もっとも、このような環境下では、市場全体の調整を背景に、中長期的な成長力を有する高クオリティ銘柄が過度に売られやすく、投資妙味が高まる局面と捉えています。当ファンドでは、こうした局面を長期的な視点で投資機会と位置付け、リスクとリターンのバランスが改善した銘柄を中心に投資を行う方針です。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	第6期		項 目 の 概 要
	(2025.4.2～2026.4.1)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	102円	0.825%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,379円です。
(投信会社)	(97)	(0.785)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(5)	(0.039)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	4	0.032	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数
(株式)	(4)	(0.032)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	56	0.450	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.013)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(54)	(0.437)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	
合 計	162	1.307	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は「1 万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2025年4月2日から2026年4月1日まで)

親投資信託受益証券

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	6,980	15,580	42,775	106,404

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年4月2日から2026年4月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	33,015,926千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	29,392,788千円
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	1.12

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2026年4月1日現在)

	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	102,573	66,777	166,563

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2026年4月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	166,563	100.0
コール・ローン等、その他	42	0.0
投資信託財産総額	166,605	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、4月1日における邦貨換算レートは、1米ドル＝158.87円、1スイスフラン＝199.19円、1ユーロ＝183.86円です。

(注3) アンカーMFGグローバル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (29,538,304千円) の投資信託財産総額 (29,626,489千円) に対する比率は99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2026年4月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	329,181,124円
コール・ローン等	10,069
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド (評価額)	166,563,469
未収入金	162,607,586
(B) 負債	168,605,873
未払金	167,372,969
未払信託報酬	341,904
その他未払費用	891,000
(C) 純資産総額(A－B)	160,575,251
元本	139,091,407
次期繰越損益金	21,483,844
(D) 受益権総口数	139,091,407口
1万口当り基準価額(C／D)	11,545円

* 期首における元本額199,342,948円、当期中における追加設定元本額1,526,473円、同解約額61,778,014円

* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.1545円です。

■損益の状況

当期 (自2025年4月2日 至2026年4月1日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 561,272円
売買益	41,466,307
売買損	△ 42,027,579
(B) 信託報酬等	△ 2,594,656
(C) 当期損益金(A＋B)	△ 3,155,928
(D) 前期繰越損益金	19,164,845
(E) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	5,474,927 (1,302,215)
(売買損益相当額)	(4,172,712)
(F) 合計(C＋D＋E)	21,483,844
次期繰越損益金(F)	21,483,844
追加信託差損益金 (配当等相当額)	5,474,927 (1,303,181)
(売買損益相当額)	(4,171,746)
分配準備積立金	19,164,845
繰越損益金	△ 3,155,928

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程
計算期間末に、収益調整金額2,318,999円 (1万口当り166.72円) 及び、分配準備積立金19,164,845円 (1万口当り1,377.86円) から分配対象収益額は21,483,844円 (1万口当り1,544円) となりますが、分配を行いませんでした。

<補足情報>

当ファンド（アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用））が投資対象としている「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の決算日（2025年7月1日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2026年4月1日）現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドの組入資産の内容を掲載いたしました。

■組入資産明細表

下記は、2026年4月1日現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンド（11,846,760千口）の内容です。

(2026年4月1日現在)

外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	721	640	13,346	2,120,435	一般消費・サービス(流通)
APPLE INC	275	-	-	-	テクノロジー(ソフトウェア)
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	-	82	3,952	627,924	金融サービス
YUM! BRANDS INC	418	412	6,408	1,018,080	消費者サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	401	333	11,259	1,788,847	半導体・半導体製造装置
COCA-COLA CO/THE	287	615	4,679	743,506	食品・飲料・タバコ
COLGATE-PALMOLIVE CO	268	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
REPUBLIC SERVICES INC	210	-	-	-	商業・専門サービス
INTUIT INC	98	108	4,710	748,332	ソフトウェア・サービス
MICROSOFT CORP	387	323	11,967	1,901,233	ソフトウェア・サービス
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR	717	-	-	-	医薬品/バイオテクノロジー(医薬品)
PROCTER AND GAMBLE CO/THE	331	478	6,913	1,098,366	家庭用品・パーソナル用品
STRYKER CORP	158	113	3,741	594,384	ヘルスケア機器・サービス
NETFLIX INC	78	417	4,014	637,837	メディア・娯楽
UNITEDHEALTH GRP INC	134	194	5,272	837,590	ヘルスケア機器・サービス
CME GRP INC	-	123	3,636	577,800	金融サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	1,262	1,461	4,679	743,357	消費者サービス
MASTERCARD INC - A	161	149	7,450	1,183,729	金融サービス
MSCI INC	-	105	5,695	904,793	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	236	245	7,431	1,180,638	金融サービス
HCA HEALTHCARE INC	137	-	-	-	ヘルスケア機器・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A	132	137	7,867	1,249,978	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	348	361	5,684	903,082	金融サービス
MEDTRONIC PLC	-	550	4,766	757,189	ヘルスケア機器・サービス
ALPHABET INC-CL A	434	257	7,394	1,174,735	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	109	67	1,924	305,797	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	617	643	7,446	1,182,961	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,930 23銘柄	7,823 22銘柄	140,244 22,280,603	<75.4%>
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL	157	156	5,461	1,004,195	家庭用品・パーソナル用品
LVHM MOET HENNESSY LOUIS VUI	58	-	-	-	耐久消費財・アパレル
HERMES INTL	-	29	4,687	861,754	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	215 2銘柄	185 2銘柄	10,148 1,865,950	<6.3%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ADIDAS AG	-	229	3,133	576,154	耐久消費財・アパレル
SAP SE	222	408	6,006	1,104,264	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	222 1銘柄	638 2銘柄	9,139 1,680,418	<5.6%>

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	外貨建金額 邦貨換算金額	
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV	83	42	4,764	875,988	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	83 1銘柄	42 1銘柄	4,764 875,988	<3.0%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	521 4銘柄	866 5銘柄	24,052 4,422,357	<15.0%>
(スイス)	百株	百株	スイスフラン	千円	
NESTLE SA-REG	662	755	5,924	1,180,096	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	662 1銘柄	755 1銘柄	5,924 1,180,096	<4.0%>
(カナダ)	百株	百株	カナダドル	千円	
BROOKFIELD CORP	985	-	-	-	金融サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	985 1銘柄	- -	- -	<-%>
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	10,100 29銘柄	9,444 28銘柄	27,883,057 -	<94.4%>

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買取相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等の中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人資産運用業協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。

アンカーMFGグローバル 株式マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日 2025年7月1日）

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」は、去る2025年7月1日に第7期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



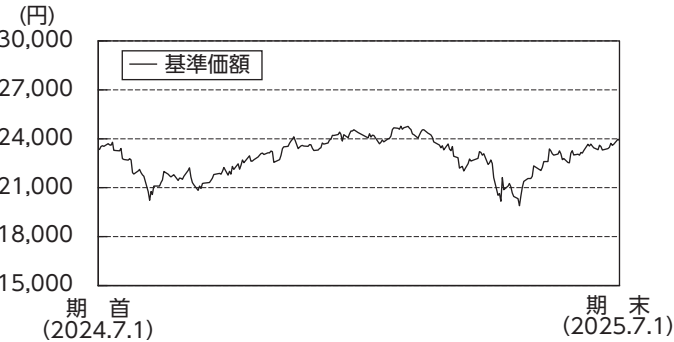
運用報告書に関するお問い合わせ先
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社
業務部
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10
アークヒルズ仙石山森タワー
電話番号：03-5575-5780
受付時間：営業日の午前9時～午後5時
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総 額
	円	期 中 騰落率		期 中 騰落率			
3期（2021年7月1日）	13,728	25.3%	14,507	44.1%	90.4%	3.5%	百万円 46,328
4期（2022年7月1日）	13,757	0.2	15,286	5.4	88.2	2.7	36,841
5期（2023年7月3日）	17,252	25.4	19,254	26.0	92.9	－	30,236
6期（2024年7月1日）	23,350	35.3	25,916	34.6	94.6	－	31,500
7期（2025年7月1日）	23,888	2.3	26,885	3.7	95.0	－	30,903

（注）参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。）を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2024年 7 月 1 日	23,350	－	25,916	－	94.6	－
7 月末	21,926	△ 6.1	24,513	△ 5.4	93.9	－
8 月末	21,697	△ 7.1	24,087	△ 7.1	95.2	－
9 月末	21,765	△ 6.8	24,376	△ 5.9	95.1	－
10月末	23,207	△ 0.6	26,227	1.2	92.1	－
11月末	23,278	△ 0.3	26,372	1.8	95.3	－
12月末	24,382	4.4	27,424	5.8	96.0	－
2025年 1 月末	24,676	5.7	27,511	6.2	95.8	－
2 月末	23,320	△ 0.1	26,042	0.5	95.5	－
3 月末	22,421	△ 4.0	25,088	△ 3.2	94.7	－
4 月末	21,566	△ 7.6	24,029	△ 7.3	94.9	－
5 月末	23,008	△ 1.5	25,750	△ 0.6	94.9	－
6 月末	23,976	2.7	26,981	4.1	95.0	－
(期 末) 2025年 7 月 1 日	23,888	2.3	26,885	3.7	95.0	－

（注）騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：23,350円 期末：23,888円 騰落率：+2.3%

【基準価額の主な変動要因】

株式がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。株式では、コミュニケーション・サービス、金融、資本財・サービスでの保有銘柄の株価が上昇しました。為替は、米ドルほかの組入通貨に対して概ね円高となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて上昇しました。期初から期中にかけては、F R B（米連邦準備制度理事会）による利下げ観測や良好な米企業業績などを支えに上昇基調で推移しました。2025年4月には、トランプ政権による相互関税の公表を受けた市場の急落も見られましたが、その後各国との貿易協定の進展を背景に反発し、期を通じては、先進国株式市場は上昇しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円高米ドル安となりました。期初は、F R Bによる利下げ観測や軟調な米経済指標を受け、急速に円高米ドル安が進みました。一方その後、米国の利下げ決定後は、利下げペースが緩やかになるとの見方から、円売り米ドル買いが優勢となりました。期中から期末にかけては、日銀による利上げ観測や米景気の減速懸念などを背景に円は米ドルに対して上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

米国経済は底堅さを保ち、保有銘柄の先行き見通しもおおむね良好とみています。一方、株式市場では米国の利下げに焦点が集まっており、利下げ時期を巡る思惑の変化が、株式市場の変動性を高める可能性を警戒しています。そのため、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を基に良好な業績が期待できる高感応度銘柄の比率を高位に維持しつつも、利下げ等を巡る不確実性にも留意し、低感応度銘柄やキャッシュを活用することで、ポートフォリオの分散も図っていく方針です。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、エコノミック・モート（持続可能な競争優位性）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは世界的なインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+2.3%、+3.7%となりました。

《今後の運用方針》

今後各国の貿易協定が進展していくことで、また、各国が景気刺激策を打ち出すことで、市場は引き続き回復していくことを想定しており、当戦略ではこれまで通り、市場との連動性を高めたポートフォリオ運営を行う方針です。一方、足元の株式市場の割高感を踏まえると、過去2年間のような大幅な上昇の可能性は低いとみており、今後相場の変動性が高まった場合にも対応できるよう、低感応度銘柄を厳選することでポートフォリオのディフェンシブ性向上にも注力する方針です。銘柄選定にあたっては、引き続き世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄を厳選する方針です。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
(a) 売買委託手数料 (株式)	5円 (5)
(b) 有価証券取引税	－
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	3 (3) (0)
合 計	8

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって
受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(注 2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況

(2024年 7 月 2 日から2025年 7 月 1 日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
アメリカ		百株 5,133	千米ドル 87,083	百株 4,137	千米ドル 92,712
カナダ		百株 114	千カナダドル 746	百株 491	千カナダドル 3,623
スイス		百株 583	千スイスフラン 4,822	百株 532	千スイスフラン 4,670
ユ ー ロ	ドイツ	百株 9	千ユーロ 211	百株 279	千ユーロ 6,318
	フランス	百株 196	千ユーロ 8,923	百株 33	千ユーロ 1,961
	オランダ	百株 35	千ユーロ 2,615	百株 38	千ユーロ 2,892
	ユーロ 通貨計	百株 241	千ユーロ 11,750	百株 350	千ユーロ 11,172

(注 1) 金額は受渡し代金。
(注 2) () 内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には
含まれておりません。
(注 3) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2024年7月2日から2025年7月1日まで)

項 目	当 期
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	32,569,221千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	28,549,111千円
(c) 売買高比率 (a)／(b)	1.14

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
(注2) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(2024年7月2日から2025年7月1日まで)

株式

当				期			
買		付		売		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	46	1,362,498	29,362	TRANE TECHNOLOGIES PLC	22	1,339,663	60,150
PROCTER AND GAMBLE CO/THE	54	1,343,733	24,458	APPLE INC	40	1,250,788	31,085
MICROSOFT CORP	16	988,820	61,474	INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	50	1,241,098	24,458
WEC ENERGY GRP INC	61	895,514	14,531	COLGATE-PALMOLIVE CO	85	1,172,214	13,751
NESTLE SA-REG	58	843,046	14,454	SAP SE	27	1,025,749	36,754
MSCI INC	9	767,882	82,091	NETFLIX INC	6	994,105	144,052
L OREAL	12	758,770	58,874	REPUBLIC SERVICES INC	26	927,109	34,649
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	6	680,976	100,602	MICROSOFT CORP	13	892,239	66,774
ALPHABET INC-CL A	24	645,158	26,304	LOWES COS INC	21	876,203	41,242
COCA-COLA CO/THE	59	608,709	10,219	NESTLE SA-REG	53	800,769	15,026

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

(2025年7月1日現在)

外国株式

銘 柄		前期末	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC		717	791	17,363	2,494,978	一般消費・サービス・小売
APPLE INC		393	-	-	-	テクノロジー・ハードウェア・小売
YUM! BRANDS INC		403	599	8,885	1,276,731	消費者サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR		-	452	10,258	1,474,096	半導体・半導体製造装置
COCA-COLA CO/THE		-	595	4,214	605,531	食品・飲料・タバコ
COLGATE-PALMOLIVE CO		739	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
REPUBLIC SERVICES INC		216	-	-	-	商業・専門サービス
INTUIT INC		118	82	6,492	932,897	ソフトウェア・サービス
LOWES COS INC		149	-	-	-	一般消費・サービス・小売
MCDONALDS CORP		67	-	-	-	消費者サービス
MICROSOFT CORP		314	341	17,005	2,443,585	ソフトウェア・サービス
NOVO-NORDISK A/S-SPONS ADR		426	462	3,189	458,227	医薬品・バイオテクノロジー
PROCTER AND GAMBLE CO/THE		-	525	8,364	1,201,934	家庭用品・パーソナル用品
STRYKER CORP		170	166	6,595	947,657	ヘルスケア機器・サービス
NETFLIX INC		115	59	7,953	1,142,779	メディア・娯楽
UNITEDHEALTH GRP INC		166	202	6,318	907,970	ヘルスケア機器・サービス
CME GRP INC		-	152	4,199	603,364	金融サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC		857	1,400	7,864	1,130,047	消費者サービス
MASTERCARD INC - A		155	154	8,653	1,243,475	金融サービス
MSCI INC		-	93	5,394	775,182	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES		252	243	8,653	1,243,491	金融サービス
HCA HEALTHCARE INC		169	110	4,216	605,909	ヘルスケア機器・サービス
META PLATFORMS INC-CLASS A		157	149	11,001	1,580,766	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN		673	346	6,360	913,945	金融サービス
TRANE TECHNOLOGIES PLC		209	-	-	-	資本財
ALPHABET INC-CL A		206	352	6,216	893,301	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C		110	71	1,276	183,394	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC		279	712	7,425	1,066,985	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,070 23銘柄	8,067 22銘柄	167,904 -	24,126,255 <78.1%>	
(フランス)		百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL		35	153	5,579	945,540	家庭用品・パーソナル用品
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		34	79	3,535	599,229	耐久消費財・アパレル
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	70 2銘柄	233 2銘柄	9,115 -	1,544,769 <5.0%>	
(ドイツ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE		492	222	5,739	972,664	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	492 1銘柄	222 1銘柄	5,739 -	972,664 <3.1%>	
(オランダ)		百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV		85	83	5,630	954,261	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	85 1銘柄	83 1銘柄	5,630 -	954,261 <3.1%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	647 4銘柄	538 4銘柄	20,485 -	3,471,695 <11.2%>	

銘柄		前期末	当 期 末		業 種 等	
		株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(スイス)		百株	百株	千円		
NESTLE SA-REG		565	615	4,853	880,493	食品・飲料・タバコ
小 計	株 数・金 額	565	615	4,853	880,493	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	-	<2.8%>	
(カナダ)		百株	百株	カナダドル	千円	
BROOKFIELD CORP		1,363	985	8,307	877,234	金融サービス
小 計	株 数・金 額	1,363	985	8,307	877,234	
	銘柄数<比率>	1銘柄	1銘柄	-	<2.8%>	
合 計	株 数・金 額	9,647	10,207	-	29,355,678	
	銘柄数<比率>	29銘柄	28銘柄	-	<95.0%>	

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各個別株式評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

■投資信託財産の構成

(2025年7月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	29,355,678	95.0
コール・ローン等、その他	1,547,485	5.0
投資信託財産総額	30,903,163	100.0

- (注1) 単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=143.69円、1カナダドル=105.60円、1スイスフラン=181.40円、1ユーロ=169.47円です。
(注3) 当期末における外貨建資産（30,822,916千円）の投資信託財産総額（30,903,163千円）に対する比率は、99.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年7月1日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	30,905,322,912円
コール・ローン等	1,539,907,371
株式（評価額）	29,355,678,315
未収入金	2,160,895
未収配当金	7,575,563
未収利息	768
(B) 負債	2,166,347
未払金	2,166,347
(C) 純資産総額(A－B)	30,903,156,565
元本	12,936,779,927
次期繰越損益金	17,966,376,638
(D) 受益権総口数	12,936,779,927口
1万口当り基準価額(C／D)	23,888円

- * 期首における元本額13,490,766,970円、当期中における追加設定元本額670,026,735円、同解約額1,224,013,778円
* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）11,256,091,628円、アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）100,714,191円、アンカーMFGグローバル株式ファンド（分配型）（適格機関投資家専用）1,579,974,108円
* 当期末の計算口数当りの純資産総額は2.3888円です。

■損益の状況

当期（自2024年7月2日 至2025年7月1日）

項 目	当 期
(A) 配当等収益	277,259,418円
受取配当金	255,158,965
受取利息	22,077,350
その他収益	23,103
(B) 有価証券売買損益	410,200,196
売買益	5,580,963,643
売買損	△ 5,170,763,447
(C) 信託報酬等	△ 3,683,151
(D) 当期損益金(A + B + C)	683,776,463
(E) 前期繰越損益金	18,009,563,196
(F) 追加信託差損益金	864,853,658
(G) 解約差損益金	△ 1,591,816,679
(H) 合計(D + E + F + G)	17,966,376,638
次期繰越損益金	17,966,376,638

- (注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。